

郷間「やすひさ」の「やさしさ」を一人でも多くの人へ...

討議資料

郷間やすひさ 後援会 速報 第2弾

発行人 郷間やすひさ後援会 会長 田崎 肇 〒321-0903 宇都宮市下平出町183-2 TEL/FAX 661-2485



市議会議員

郷間やすひさ 10大実績ニュース!

2期目(4年間の)

【第1位】東日本大震災の教訓をもとに、市内全域の消防団に新型のMCA無線(220台)を配備し、先進的な災害出動メール指令システムを導入させました!



「(震災時に) 団員向け出動指令が機能しなかった」…現役消防団員である郷間は、震災直後の平成23年6月議会で即座にこの問題を取り上げ、小型無線機の配備とメール配信指令の導入を求めました。

この質問がきっかけとなり、現在は郷間の提案どおり、市内の全消防団にMCA無線とメールによる出動指令システムが整備されて防災力の強化が図られました。

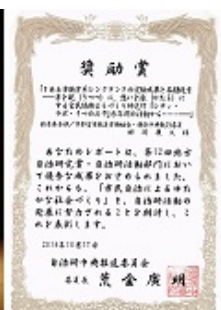


郷間の提案力と行動力には、いつも「即効性」が兼ね備えられています。

【第2位】平成26年10月に佐賀県で開催された第35回地方自治研究全国集会において、郷間が応募した9,000字に及び社会貢献活動論文が全国2位の奨励賞に輝きました!

郷間の活動は、議会内にとどまらず様々な社会貢献分野に及んでいます。震災直後に郷間は「被災地に明日を贈ろう」との思いで、約5,500本のカレンダーを集め、これをトラックに詰め込んで釜石市と石巻市の仮設住宅に届けてきました。

また、震災孤児施設の建設や、津波で消えた海岸林の復活をめざす募金活動のほか、近年は中年世代の婚活支援や、介護や子育てに不安をもつ家族のための家庭相談室の創設運動、各種子ども支援事業など、その活動範囲は広がりを見せています。これらの実績が全国規模で認められた輝かしい上位入賞でした。



宇都宮の ^{うつつ} 夢を現に、^{かたち} 想いを実に...

「？」(疑問)を「！」(感動)へ



【第3位】

数年前の全国紙に「三無主義(議案無修正・無提案・賛否非公開)の慣れ合い議会」と酷評された宇都宮市議会。この報道に危機感を持った郷間は、平成25年5月に**全国異例の混成会派「フォーラムみんな」を結成し、この会派の代表として様々な議会改革**に取り組みました!

2011 地方選

議会は いららない?

全国の地方議会のうち、首長が提出した議案をこの4年間で一本も修正や否決していない。丸のみ議案は50%、議員提案の政策案が一つもない。無提案議案が91%、議員個人の議案への賛否を明らかにしない「非公開」議案が84%。朝日新聞の全国地方分権に伴い、議員には

議会の半数、議案丸のみ

自治体議会アンケートで、こんな議会のほうがよく、くりが求められるが、4年間で議員提案の政策案の制定数が多い。いずれにしても、まる「3」議案は全体の3分の1に及ぶ。

- ・17面にアンケート分析
- ・3面に丸め合いと改革 16
- ・17面にアンケート分析

アンケートは1月、都道府県と市区町村の計1797の議会を対象に実施した。回収率は100%だった。

2007年1月からの4年間で、首長提案の議案数は1議案あたり平均4.14本。修正または否決が3本以下の議案が全体の82%を占めた。

地方分権に伴い、議員には住民の心しに即した案づくりに求められるが、4年間で議員提案の政策案の制定数が多い。いずれにしても、まる「3」議案は全体の3分の1に及ぶ。個々の議員の議案への賛否は、議員の評定に不可欠な情報だが公開している議会は16%しかなかった。

「行政監視」「政策立案」「情報公開」のすべてが不十分な議会は全国で653議会。

京都市、兵庫、広島、香川、福岡の5府県議会ほか、県庁所在地では福岡、宇都宮、甲府、高山、金沢、和歌山、松江、松山、佐賀、大分、鹿児島、11市議会が該当した。

急増する空き家対策のための条例案、中学生3年生までの子ども医療費無料化をめざす条例改正案、市民にLRT導入の是非を問うための住民投票条例案など、郷間はこの4年間で3つの政策条例案を議会に上程しています。これは宇都宮市議会史上初の快挙です。

また、同期議員通算トップ回数(16回)の一般質問に登壇するとともに、会派内の活動をまとめた会報を随時発行し、今期は計3回の「市政報告会」を地元平石地区市民センターで開催するなど、郷間の政策提案は常に積極性と透明性に満ちています。



【第4位】

市東部の農用河川「山下川」の新治水計画が策定されました。今後は、郷間が提案している**放水路の整備や国庫補助による本格改修**がいよいよ具体化し、これに平行して**溢水対策等も講じられる**ことになりました!



用地買収がほぼ完了してから約10年も経つのに、この川の改修はまだ実現していません。また、豪雨の際には未だに氾濫を繰り返しています。郷間はこの点に着目し、放水路の新設や早急なる改修を求めてきました。

その努力が実を結び、今後は新しい治水計画のもとで大規模な改修が実現し、流域の皆さんの安心、安全な暮らしが確保されることになりそうです。【※先行改修が必要と思われる氾濫箇所がありましたら郷間事務所までご連絡ください。☎ 661-2485】



【第5位】

郷間は少人数学級制がもたらす小規模校での諸問題を議会で取り上げ、母校である平石北小学校など、**教員の特別補充を実現**させました!



本市の小学校では1、2年生に限り「35人学級制」が導入されています。これに伴い、平成27年度は、市内68校のうち18校の小学校がクラスの減少や教員削減などの負担を背負うことがわかりました。

その中でも平石北小学校の3年生は、クラスの児童数が20人から40人に倍増する事態が予想されました。

郷間はこの問題を議会で取り上げ、見事「教員の特別加配」を実現させました。



【第6位】

平成24年1月からスタートした生活弱者のための「ふれあい収集」(戸別訪問型ゴミ収集)が好評を博しています。このサービスを初めて提案(平成21年12月の環境経済常任委員会)したのも郷間でした。先見の明をもつ郷間のアイデアは環境福祉分野でも市民に大変喜ばれています!



高齢者や障がい者の方で、親族や近所などから支援を受けられず、家庭ゴミを自力でステーションまで出すことが困難な方々の家を戸別訪問し、直接ゴミを預かるサービスが「ふれあい収集」です。現在は、高齢単身者などを中心に200戸を超える家庭のゴミが個別に収集されています。行政経験をもつ郷間は、福祉や環境分野でもきめ細やかな行政サービスの実現に貢献しているという証拠です。

【第7位】

学校通学路の優先整備を提案する郷間は、地元鬼怒中学校の自転車事故が多発していること知り、特に危険な場所と言われた平出工業団地東通りT字路部分の大規模な「歩道拡幅」を実現しました!



本市の財政事情は決して豊かとは言えません。その証拠に道路改修や新設予算は10年前と比べてかなり少なくなっています。とは言っても、市民生活に直結する道路の改修や通学路の安全対策は、費用をかけてでも実現すべきだと郷間は主張しています。特に、通学路となっている道路は、今後も優先して計画的な整備を行っていくべきだと思っています。

【第8位】

「LRT導入にあたっては民意の反映が絶対条件!」という信念をもつ郷間は、二度にわたる住民投票条例案の審議に「賛成」の立場で議論に臨み、市民主導型のまちづくりを実現させるべく各種提言活動に力を注いでいます!

LRT事業費406億円

当初見込みの1.5倍

「LRT事業費406億円」とは、平出工業団地東通りT字路部分の歩道拡幅工事の事業費を指している。当初の見込みは約270億円であったが、工事内容の追加や材料費の上昇などにより、最終的に406億円に膨れ上がった。これは当初の見込みの約1.5倍に達している。この膨大な増額には、市民や関係者から強い懸念が示されている。

東部区間整備
宇都宮市試算

本市が導入しようとしているLRT(次世代型路面電車)事業は未だに市民の同意を得ていません。佐藤市長はなぜ市民に賛否を問わないのでしょうか。民意を置き去りにしたまま、政治主導で「見切り発車」しようとしているこのLRT計画に郷間は疑問を投げかけています。2000年の冬、郷間は単身アメリカに渡り、ノースカロライナ大学のヘンリー・サノフ教授のもとで市民主導型のまちづくり手法(コミュニティデザイン)を学んできました。「民意なき都市計画は、将来必ず禍根を残す」…これが郷間の持論です。



仕事・役職・地域での活動あれこれ



行政書士として相続や遺言、離婚などの相談をお受けしています。



消防団員として16年目。かなりの高齢団員ですが、今も現役で頑張ってます。



一昨年の5月から宇都宮清陵高のPTA会長として様々な保護者活動を実践中です。

【第9位】

議員として公約に掲げた**住民票等のコンビニ交付が、6年以上の歳月を経て平成28年度に実現**ことになりました。また、かねてから郷間が提案していた**スマートフォン(タブレット)による議会生中継閲覧**も来年度から可能になります。皆さんどうぞ楽しみに！



先に述べたように、郷間は即効性や実効性を重視して各種提案を行っていますが、その一方で「時間がかかっても必要であれば実現させる！」という“しぶとさ”を持ちあわせています。

今から5年前の平成22年3月議会で郷間が提案した「住民票等のコンビニ交付」や、議会の公開性を高めるための「本会議中継映像のスマホ配信」がついに実施の運びとなりました。郷間の「あきらめない姿勢」は、こんなところでも威力を發揮しています。

【第10位】

産廃処理施設問題や工場排水の汚染問題などを抱える**平出工業団地の環境問題を指摘**し、同団地の**流通団地化**と商業施設が設置可能な**用途変更**をめざして活動を展開しています！



平出工業団地の周辺地域は住宅や商業施設が密集しています。にもかかわらず、この団地には次々と産廃処理施設や有害物質を取り扱う工場が進出し、様々な問題を抱えています。

郷間はこれらの事実を度々議会で取り上げ、新たな規制強化の必要性を訴えるとともに、将来的には**公害と無縁な流通団地化**をめざし、(旧松下電器跡地など)一部に商業施設が立地できるよう都市計画用途区域の変更を提唱しています。



笑顔にっこり\(^ ^)/ 心ほっこり(o^-^o)

「陽だまり館」(郷間やすひさ後援会事務所) へお立ち寄りください!



お気軽にお立ち寄りください!

「陽だまり館」は“笑顔と真顔”が行き交うコミュニケーションの場となっています。友人、知人、ご家族お誘い合わせの上、どうぞお気軽にお立ち寄りください。郷間の支援者は、あたたかく、やさしい輪でつながっています。



市政に関するご意見、ご要望などがございましたら、どんな小さなことでも結構ですのでお聞かせ下さい。「陽だまり館(後援会事務所)」では、常時、皆さんの大切な声をお預かりしています。

郷間やすひさ後援会事務所
「陽だまり館」
 〒321-0903 宇都宮市下平出町183-2
 TEL/FAX 661-2485
 e-mail: gohma48clear@yahoo.co.jp

4/19 (日) 10時~

出陣式
 陽だまり館(後援会事務所)

- ◆ 「郷間やすひさ」のリーフレットの配布と後援会入会カードの回収にご協力を！
- ◆ ボランティアスタッフ(男女)募集中！ 1時間でもOKです！(お問合せは上記事務所まで)